

世界では探究をどう進めているのか

—国際バカロレアの事例から考える—

2024 年 1 月 7 日 (日) ・ 8 日(月祝) 【ハイブリッド開催】

主 催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会 <https://rikakari.jp/>

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 4階 417 室ほか

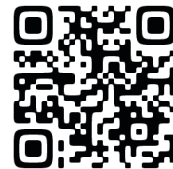
東京都渋谷区代々木神園町 3-1 (オンラインからも参加できます)

対 象：小・中・高・大の理科教育に携わる方、教育ジャーナリスト、一般

参加費：一般 3,000 円 会員 2,000 円 学生 1,000 円 定員 200 名 (先着順)

申込み：右の URL または QR コードから申し込んでください <https://rikakari2024010708.peatix.com>

問合せ：理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 [rikakari.jimu\(at\)gmail.com](mailto:rikakari.jimu(at)gmail.com)



学習指導要領に探究が取り入れられ、各教育現場では探究活動に従事させる時間が増えました。しかし、探究能力を身につけるには、普段の授業の中でどのような指導をする必要があるのでしょうか？世界では探究を指導の中心に据えた教育が、長い時間をかけて開発されてきました。その中の一つである国際バカロレア (IB) のプログラムでは、探究を基盤とした指導が行われています。これからの日本の教育で課題解決に意欲的な市民を育てるにはどうしたら良いかを皆さんと考えたいと思います。



1日目プログラム (1月7日 (日) 13:00~18:00)

13:00 開会

提言「課題解決に意欲的な市民を育てる探究とは」 滝川洋二 (本会理事長)

講演「国際バカロレアにおける探究型学習：概念を通して理解を構築するプロセス」

カメダ・クインシー (玉川大学大学院教育学研究科 IB (国際バカロレア) 研究コース担当准教授)

講演「国際バカロレアにおける中高での探究的な学びの実践」

鮫島朋美 (東京学芸大学附属国際中等教育学校)

休憩・企業展示 (Zoom による配信もあります！)

株式会社ナリカ、株式会社第一学習社、株式会社新興出版 啓林館

パネルディスカッション「探究能力を身につけさせる指導のポイント」

滝川洋二 + カメダ・クインシー + 鮫島朋美

2日目プログラム (1月8日 (月祝) 9:00~16:00)

研究・実践発表「探究的に進める理科の授業」 本会会員を中心とした研究・実践の発表

「自己実現を目指す授業づくり —Etkina の科学的推論の方法と ZOOM ミーティング—」

栗木久 (立命館中学高校)

「レッスンスタディを通して探究的な学びを推し進める」 土佐幸子 (新潟大学)

「小中高大を見通した教科書づくり〜中2：動物体のつくりとはたらき」

山崎慶太 (和光中学高校) ・ 兵頭俊夫 (KEK 物質構造科学研究所)

「これからの教員養成の課題」 門倉松雄 ・ 高城英子 (理科カリキュラムを考える会)

「共に学び合う民間研究会のススメ」 川島健治 (法政大学附属中学高校)

高橋政宏 (SCIENTIA) ・ 高橋和光 (理科カリキュラムを考える会)

「アプリを活用した探究的な実験の紹介」

今和泉卓也 (筑波大学附属駒場中・高等学校) ・ 山本明利 (北里大学)

昼食休憩・企業展示 (Zoom による配信もあります！)

株式会社ナリカ、株式会社第一学習社、株式会社新興出版 啓林館

ポスター「持続可能な放射線教育をめざして〜『文部科学省放射線 (小学校) 副読本』問題練習を通して〜」

佐々木清 (福島県環境アドバイザー)

講演「探究を学びの中心に〜デザイン思考×システム思考×データ思考、課題研究と論文執筆の取組み〜」

森弘達 (大妻中学高等学校進路指導部長・探究科主任、東京学芸大学大学院、IU 情報経営イノベーション専門職

大学客員教授、沖縄探究ラボ所長、国際バカロレアディプロマプログラムアドミニストレーター)

総合討論「日本に探究を根付かせるには」

16:00 閉会